



2011年3月期決算説明会



ZeeM

株式会社クレオ
2011年5月10日



決算概要

2011年3月期 決算概要

(百万円)	2010/3期 実績	2011/3期 予想	2011/3期 実績	増減額	
				前年比	計画比
売上	9,518	10,350	9,497	△20 (△0.2%)	△853 (△8.2%)
営業利益	62	40	29	△33	△11
経常利益	82	40	42	△40	2
当期純利益	86	15	△339	△425	△354

※2011/3期予想は2010/4/28発表の数値(業績修正2011/4/22発表済)

■全体

- ・ 期中に発生した複数のトラブルPJによる影響が残り、前年同期比減収減益の厳しい決算となった
- ・ 特別損失は下期オフィス移転に伴う固定資産除却損66百万円、事務所移転費用49百万円に加え、キャリア支援制度の加算金157百万円が発生した

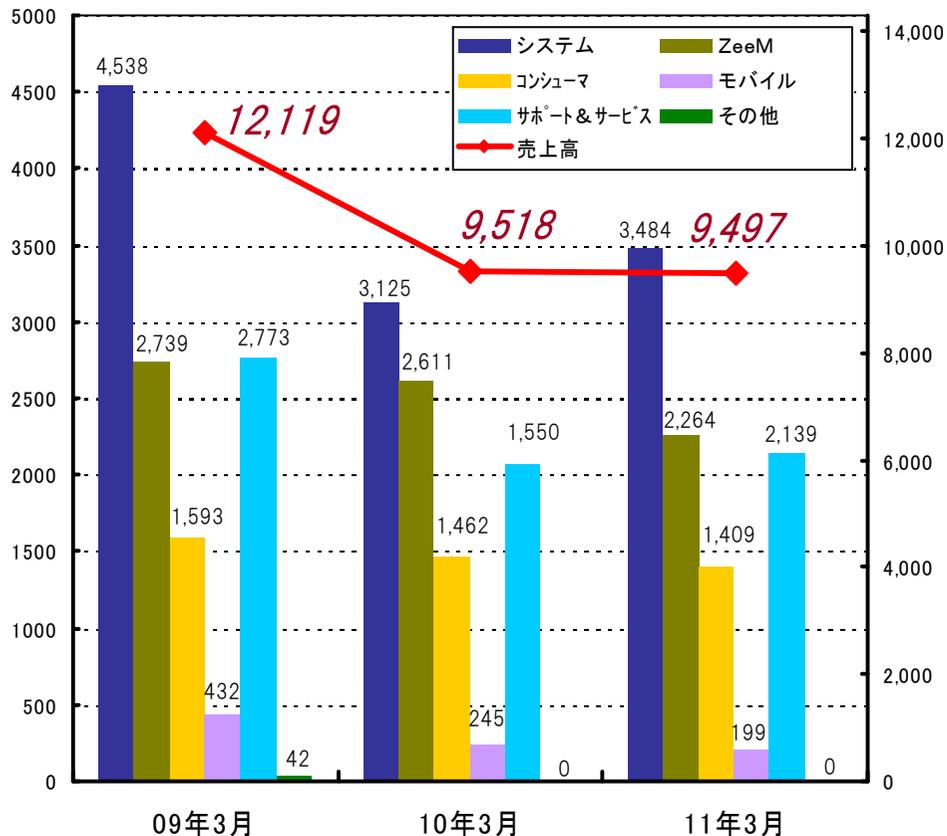
■セグメント別の状況

- ・ システム開発事業は、受注は回復傾向ながらも、上期のトラブルプロジェクトが尾を引き増収減益
- ・ ZeeM事業は、「人材開発」「就業管理」「サービスデスク」などの新サービスの受注が伸びるも「人事給与」「会計」の受注が伸びず、上期のトラブルプロジェクトの影響も尾を引き減収減益
- ・ コンシューマサービス事業は、厳しい市場の中「筆まめ」「プロアトラス」などが順調に推移し、売上微減、利益増
- ・ モバイル事業は、新分野への取組にて商談数が増えるが、ウェブ構築分野が苦戦し減収、損失額減少
- ・ サポート&サービス事業は、既存顧客への品質向上により増収となるが、顧客単価引下が響き減益

2011年3月期 決算の概要(売上)

売上高:セグメント別

(百万円)



四半期別売上高

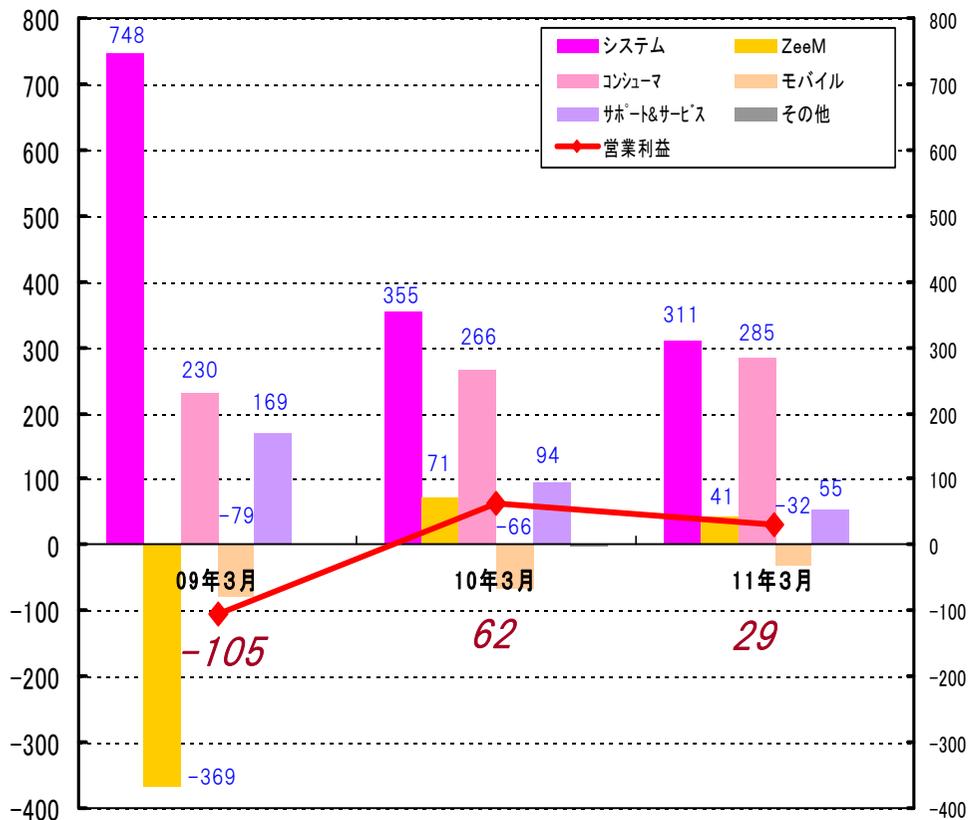
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
09/3	2,554	3,631	2,947	2,986
10/3	1,893	2,701	2,359	2,564
11/3	1,816	2,573	2,410	2,697

	2010/3期	2011/3期	増減額	増減率
システム	3,125 (3,603)	3,484	359 (△119)	11.5% (△3.3%)
ZeeM	2,611 (2,133)	2,264	△346 (131)	△13.3% (6.1%)
コンシューマ	1,462	1,409	△52	△3.6%
モバイル	245	199	△46	△18.8%
サポート&サービス	2,069	2,139	69	3.3%
連結合計	9,518	9,497	△20	△0.2%

※当期よりソリューション事業部をZeeM事業→システム開発事業に編入しているため、()書で前期数値を当期と同様の基準数値を参考として表記しております。

2011年3月期 決算の概要(営業利益)

営業利益:セグメント別 (百万円)



四半期別営業利益

	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
09/3	-301	258	10	-73
10/3	-285	242	-35	140
11/3	-309	161	-53	231

	2010/3期	2011/3期	増減額	増減率
システム	355 (371)	311	△43 (△60)	△12.3% (△16.1%)
ZeeM	71 (55)	41	△29 (△14)	△41.7% (△25.4%)
コンシューマ	266	285	19	△7.4%
モバイル	△66	△32	34	—
サポート&サービス	94	55	△39	△41.2%
連結合計	62	29	△33	△53.4%

※当期よりソリューション事業部をZeeM事業→システム開発事業に編入しているため、()書で前期数値を当期と同様の基準数値を参考として表記しております。

2011年3月期 損益計算書の概要



〔百万円未満は切り捨て〕

主な科目	2011/3末			2010/3末	
	金額	構成比	増減	金額	構成比
売上高	9,497	100.0%	△21	9,518	100.0%
営業費用	9,468		12	9,456	
営業利益	29	0.3%	△33	62	0.7%
営業外損益	13		△7	20	
経常利益	42	0.4%	△40	82	0.9%
特別利益	58		11	47	
特別損失	406		397	9	
税引前当期利益（△は税引前当期損失）	△304	-3.2%	△424	120	1.3%
法人税等	23		△19	42	
少数株主利益（控除）	0		8	△8	
当期純利益（△は当期純損失）	△339	-3.6%	△425	86	0.9%

増減ポイント

<売上高><営業損益>

「決算の概要」の通り

<特別利益>

退職給付引当金戻入 58百万円

<特別損失>

固定資産除却損 66百万円

事務所移転費用 49百万円

退職特別加算金 157百万円

2011年3月期 貸借対照表の概要①

〔百万円未満は切り捨て〕

主な科目	2011/3末			2010/03末	
	金額	構成比	増減	金額	構成比
資産合計	5,738	100.0%	△20	5,758	100.0%
流動資産	4,852	84.6%	61	4,791	83.2%
現金・預金	2,495		△15	2,510	
受取手形及び売掛金	1,921		153	1,768	
棚卸資産	259		△81	340	
その他	179		3	176	
貸倒引当金	△4		△1	△3	
固定資産	885	15.4%	△82	967	16.8%
有形固定資産	154		△20	174	
無形固定資産	403		△73	476	
のれん	48		△49	97	
その他	354		△25	379	
投資等	327		11	316	

増減ポイント

<流動資産>

・受取手形及び売掛金:

システム開発・ZeeM系売上検収による
増加

・棚卸資産:

システム開発事業系の検収による
減少

2011年3月期 貸借対照表の概要②

〔百万円未満は切り捨て〕

主な科目	2011/3末			2010/03末	
	金額	構成比	増減	金額	構成比
負債合計	1,836	32.0%	319	1,517	26.3%
流動負債	1,727		406	1,321	
買掛金	310		72	238	
短期借入金および社債	29		4	25	
その他	1,388		330	1,058	
固定負債	109		△87	196	
長期借入金および社債	5		5	0	
その他	104		△92	196	
純資産合計	3,901	68.0%	△340	4,241	73.7%
資本金	3,149		0	3,149	
資本剰余金	1,428		0	1,428	
利益剰余金	△557		△339	△218	
自己株式	△122		0	△122	
株式等評価差額金	0		0	0	
少数株主持分	4		1	3	
負債純資産合計	5,738	100%	△20	5,758	100%

増減ポイント

<流動負債>

・その他:

－未払金の増加(218百万円)

－資産除去債務引当(65百万円)

<固定負債>

・その他:

退職給付引当金の戻入による減少
(81百万円)

2011年3月期 キャッシュフロー計算書の概要

〔百万円未満は切り捨て〕

区 分	2011/3末		2010/3末
	金額	増減	金額
営業活動 C F	280	112	168
税金等調整前四半期純利益	△304	△424	120
減価償却費	306	33	273
売上債権の増減額（増加：△）	△152	△410	258
たな卸資産の増減額（増加：△）	79	151	△72
仕入債務の増減額（減少：△）	72	202	△130
その他	279	562	△283
投資活動 C F	220	496	△276
有形固定資産の取得	△2	5	△7
無形固定資産の取得	△271	53	△324
定期預金の預入/払戻	530	660	△130
その他	△36	△221	185
財務活動 C F	4	406	△402
短期借入れによる収入	360	325	35
短期借入れの返済による支出	△355	△335	△20
その他	△1	414	△415
現金及び現金同等物の期末残高	2,485	505	1,980
3ヶ月超の定期預金残高	10	△520	530
現金及び預金	2,495	△15	2,510

増減ポイント

<営業活動キャッシュフロー>

・買掛金及び未払金の増加による

<投資活動キャッシュフロー>

・3ヶ月超の定期預金払戻しによる
増加

<財務活動キャッシュフロー>

・その他:

前期は社債の一括償還あり

2012年3月期の計画

(百万円)	2011/3期 第2四半期 累計	2012/3期 第2四半期 累計	2011/3期 通期	2012/3期 通期	
				計画値	前期比
売上	4,389	4,900	9,497	10,400	9.5%
営業利益	△148	20	29	150	413.1%
経常利益	△135	20	42	150	250.2%
当期純利益	△341	10	△339	100	—

■2012年3月期の計画

- ・会社分割初年度、黒字確保および復配(当年期末3円)を目指す。

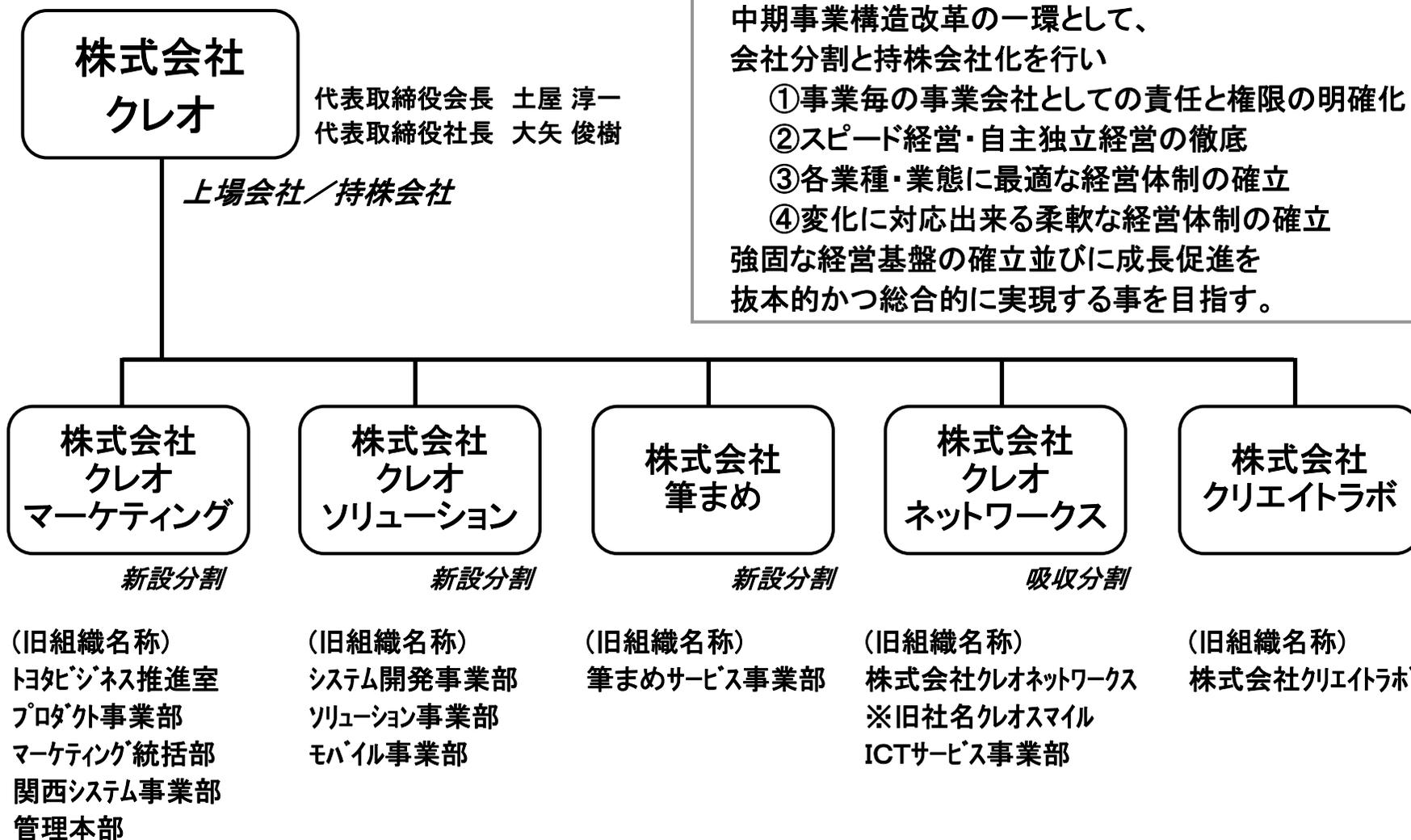
※今年度より半期と期末のみ計画値の公表となります
また、決算説明会も半期と期末のみ開催となります



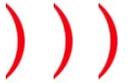
新体制方針と成長戦略

2011年4月1日付 持株会社制移行

・グループ組織図



新体制方針



■ 普遍的なクレオの気質

創造するDNA

お客様との長期的な関係を築く

■ 社内外の環境変化に耐えうる強力な経営体制

徹底的な権限委譲

独立採算

ビジネスモデルにあった仕組みづくり

新体制方針

■今後2年間の方針

預かる株主資本に見合った利益の確保、配当

グループ全体でさらに間接コストを抑制し、強い体質に

売上の中のストック比率の改善

各社の自立した経営体制の確立

各社安定成長できるような攻め(投資)と利益確保(守り)の両立

満足な実績を出し、成長に向けた本格的な攻めへの準備

成長戦略

ビジネスソリューション分野(クレオソリューション、クリエイトラボ)
成長分野、重要顧客のチャネルの深耕、開拓
(ヤフー、富士通、IDCフロンティア、NECレノボ・・・)

ビジネスサービス分野(クレオマーケティング、クレオネットワークス)
イントラマート社との提携による人事会計周辺領域の強化
クラウド化推進などビジネスモデルの変革
新商材サービスデスクの拡販
販売チャネルの磨きこみ、海外展開

コンシューマ分野(筆まめ)
筆まめの通年利用化、クラウド化、その先の海外展開



参考資料

【ご参考】事業の振り返り ZeeM事業

受注好転化ならず、予算未達成

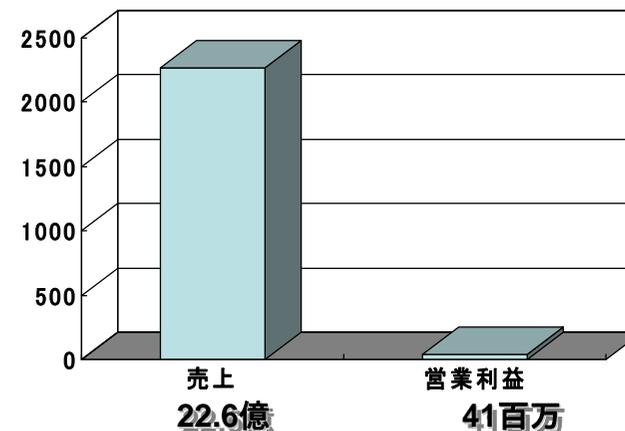
- ・IT投資需要の好転の兆しが見られない中、予算に届かず。

Intramart系の受注は拡大傾向
新製品の「就業管理」に期待

- ・プロダクト系は受注の営業活動成果が不足。
- ・Intramart系の受注は拡大傾向。
- ・新製品「就業」もあり、来期に期待。

ICTサービス系は競争力を強化し来期に期待

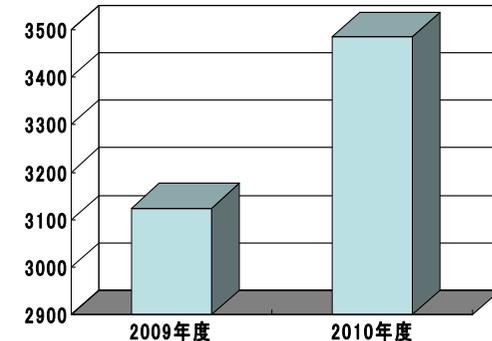
- ・ICTサービス系は、順調に商談数及び受注は進んでいる状況、競争力向上の為の製品強化も進める。来期は大いに期待。



【ご参考】事業の振り返り システム開発事業

中・大規模のトラブルプロジェクトの影響大、未然防止を強化

- ・中・大規模プロジェクトのトラブルが収益に多大な影響。
受注判定、見積審査、重要プロジェクト報告会、PMO機能を通じて未然防止を強化。



福祉介護関係、宅配の物流業務は堅調、メディア部門を強みに

- ・福祉介護関連、宅配便の物流等の特化した業務は堅調にビジネス規模を維持、
メディア分野を新たな強みとして強力に推進する。

新しい開発スキル育成を重点ポイントに

- ・お客様より求められる技術者像は多岐にわたる。
既存システムとクラウドの組合せスキル、ビジネス組合せスキル、短期間で構築する
新しい開発スキル等の育成を重点ポイントとする。

【ご参考】事業の振り返り コンシューマサービス事業

筆まめ・プロアトラスなどシェアNO.1製品のシェア・利益を維持・向上を目指す

製品名	2009年度	2010年度	コメント
筆まめ	52.8%	53.1%	シェアUpでNo.1
プロアトラス	24.5%	25.6%	シェアUpでNo.1
パーソナル編集長	52.7%	42.7%	シェア減少だがNo.1

- ・筆まめ：製品出荷は前年を上回ったが、実売が伸びず昨対95%。
新製品V21夏版を4/15発売。
- ・パーソナル編集長：競合他社の新製品発売もあり、シェアは減少したが市場は拡大。
2/4発売の新製品V9シリーズで販売増に繋げる。

新たな情報共有サービスの提供を目指す

- ・自社PCソフト製品、モバイル情報端末、他社Webサービスなどの
各種情報を共有し、ユーザがより便利になるサービスの年内提供を目指す。

【ご参考】事業の振り返り モバイル事業

ソーシャルネットやスマートフォン分野を強化

- ・長く続く不況の影響でモバイルサイト構築のニーズに加えWEBサイト構築のニーズも縮小し、売上は減少。
- ・新たな分野としてソーシャルネットやスマートフォン分野に取り組み商談が増加引続き受注強化を目指す。

【ご参考】事業の振り返り サポート&サービス事業

厳しいマーケット環境に対応し、他社との差別化を図る

- ・主要顧客の内製化やコストダウン要求の影響が響き、売上、利益共に減少。
- ・今後も厳しい市場環境は続く想定される為、競合他社との差別化を図り、既存事業や中小企業向けサービスの拡大を目指す。

【ご参考】事業の振り返り その他

昨年度に引続き全社的な経費・原価削減を展開

- ・昨年度に引続き実施した、コスト削減運動は一定の成果を出す。
- ・今後の事情安定化、収益体質の健全化を目的とし、「キャリア転換優遇支援」を実施、56名の応募。
- ・持株会社化に伴い間接費の軽減、小型高性能の管理部門確立を目的とし、「希望退職」を実施、11名の応募。
- ・会社分割に伴い、間接経費削減の一貫としてオフィス移転を実施（株式会社クレオソリューション、株式会社筆まめ）

【ご参考】プレスリリース一覧(2011年1月～2011年3月)

1月

- ・年間販売実績第1位『筆まめ』『プロアトラス』『パーソナル編集長』がBCN AWARD 2011 最優秀賞をトリプル受賞

2月

- ・『パーソナル編集長Ver.8Select』2011年2月4日(金)発売
- ・『筆まめBridal 7 ハッピーボックス』2011年3月4日(金)発売
- ・『筆まめBridal 7』2011年3月4日(金)発売
- ・クラウド型ITサービス管理ソリューション「ZeeMサービスデスク」をフルリニューアル
- ・会計ソリューション「ZeeM会計」の固定資産オプションの単体販売を開始
- ・コンポーネント型業務ソリューション『ZeeM 就業管理』を発表

【ご参考】グループ企業紹介

株式会社クレオマーケティング (新設分割会社)

基幹系・情報系業務ソリューションから、組み込み系ソフトウェアまで、
トータルICTソリューションの開発・提供

代表取締役社長 林 森太郎

〒108-0074 東京都港区高輪3-19-22 新菱高輪ビル2F

TEL:03-3445-3530 FAX:03-3445-3535

株式会社クレオソリューション (新設分割会社)

システムやネットワークの構築から、
各種業務アプリケーションの開発

代表取締役社長 岩淵 和夫

〒108-0014 東京都港区芝5-13-18 MTCビル4F、6F(受付)

TEL:03-6414-6250 FAX:03-6414-6259

【ご参考】グループ企業紹介

株式会社筆まめ

(新設分割会社)

はがき・住所録ソフト「筆まめ」をはじめとした
ソフトウェア製品の企画・開発・販売

代表取締役社長 萩原 義博

〒108-0014 東京都港区芝4-5-10 カーニープレイス芝3F

TEL:03-6414-6270 FAX:03-6414-6271

株式会社クレオネットワークス

(吸収分割承継会社)

※旧社名クレオスマイル

ICT基盤サービスプラットフォームと
WebToPrintプラットフォームの提供

代表取締役社長 土屋 淳一

〒108-0074 東京都港区高輪3-19-22 新菱高輪ビル1F

TEL:03-3445-3570 FAX:03-3445-3958

【ご参考】グループ企業紹介

株式会社クリエイトラボ

(既存子会社)

ヘルプデスクを中心としたサポート&サービス

代表取締役社長 阿南 祐治

〒140-0013 東京都品川区南大井3-28-3 大森プラザビル

TEL:03-3768-0600 FAX:03-3768-0160

—ご清聴ありがとうございました—



<IR窓口> 株式会社クレオ 広報IRグループ : TEL03-3445-3500

本資料に記載される見通し、今後の予測、戦略などに関する情報は、本資料作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲でなした判断に基づくものです。しかしながら、現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控え下さるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であっても、本資料を無断で複写・複製、または転送などを行わないようにお願いします。